

プログラム

12月12日（金）大ホール（1階）

14:05-14:10 開会の辞 会長 河野陽一

14:10-14:50

教育講演

座長 吾郷晋浩（文京学院大学大学院人間学研究科教授）

「こどもの心身症」

奥山真紀子（国立成育医療センターこころの診療部部長）

15:00-18:00

シンポジウム I 飯倉教授追悼シンポジウム

座長 赤澤 晃（国立成育医療センター臨床研修部長・小児期診療科医長）

大矢幸弘（国立成育医療センター第一専門診療部アレルギー科医長）

「子どもの危機を突破せよ 故飯倉洋治教授と歩んだ道」

15:00-15:30

基調講演 「飯倉先生が子どものために残したもの」

根本 匠（前内閣府副大臣兼内閣総理大臣補佐官）

15:30-16:10

1. 飯倉先生と食物アレルギーさらに全国モニタリング調査まで

シンポジスト 海老澤元宏（国立相模原病院臨床研究部長・小児科医長）

コメンテーター 今井孝成（昭和大学医学部小児科）

ディスカッサント 宇理須厚雄（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院
小児科教授）

16:10-16:50

2. 自閉症児を対象としたドルフィンキャンプの試み

シンポジスト 古荘純一（青山学院大学文学部助教授）

コメンテーター 松崎くみ子（昭和大学小児科心理士）

ディスカッサント 津田 彰（久留米大学大学院心理学研究科教授）

16:50-17:30

3. 学校と小児科の連携

シンポジスト 小田島安平（昭和大学小児科助教授）

コメンテーター 根本芳子（昭和大学小児科心理士）

ディスカッサント 横田雅史（愛知みずほ大学人間科学部教授）

17:30-18:00

「子どもをとりまく新たな問題への追加発言」

古荘純一（青山学院大学文学部助教授）

神山 潤（東京医科歯科大学小児科助教授）

横田雅史（愛知みずほ大学人間科学部教授）

奥山眞紀子（国立成育医療センターこころの診療部部長）

18:00-20:00

懇親会 （1階レストラン コルザ）

12/13（土）大ホール（1階）

9:30-11:53 **一般演題**

セッション I.（9:30-10:22）

座長 神田康司（名古屋第二赤十字病院アレルギー科部長）

内海みよ子（和歌山県立医科大学看護短期大学部助教授）

1. 当院小児病棟の音環境の問題点とその改善方法 —より良い音環境に配慮した病室作りを目指して—

昭和大学附属豊洲病院小児科¹、内科²、昭和大学病院小児科³

福原博篤¹、田中大介¹、成井研治¹、岡部 均¹、田中美智代¹、

市橋いずみ¹、松崎くみ子¹、小林昭夫¹、吉田文英²、竹内敏雄³、

小田島安平³

2. 小児科疾患に対する行動療法的アプローチ —オペラント条件付けの査定と解除—

国立成育医療センター

松本美江子、小嶋なみ子、明石真幸、赤司賢一、成田雅美、
渡辺博子、石井徹仁、神谷太郎、須田友子、河原秀俊、
野村伊知郎、赤澤 晃、大矢幸弘

3. 多職種スタッフによる心療科病棟入院児生活プログラム（レインボースクール）の試み

あいち小児保健医療総合センター 総合診療部¹、心療科病棟看護師長²、心療科部長³、総合診療部長⁴、センター長⁵

竹内知陽¹、原 純子¹、河邊眞千子¹、田辺裕子¹、朝日利江¹、
佃 隆治¹、野呂美智代²、杉山登志郎³、山崎嘉久⁴、長嶋正實⁵

4. 子どもの療養環境整備に関する実践的研究—こども会議の果たした役割—

あいち小児保健医療総合センター 総合診療部 保育士¹、理学療法士²、臨床心理士³、副看護部長⁴、総合診療部長⁵、センター長⁶

原 純子¹、竹内知陽²、大河内修³、千速由美子⁴、山崎嘉久⁵、
長嶋正實⁶

セッション II. (10:22-11:14)

座長 浅倉次男（山形県立保健医療大学助教授）

小林章雄（愛知医科大学医学部教授）

5. アトピー性皮膚炎患者に対するドルフィンキャンプ

千葉大学大学院教育学研究科¹、国立相模原病院小児科²、
昭和大学医学部小児科³

大多和絵里¹、杉原 桂²、坂本泰寿³、佐藤弘之³、小田島安平³

6. 小学生の身体的健康・精神的健康と攻撃性との関係

東京家政大学大学院

平井敦子

7. 中学生における規範意識が学校ストレスおよび学校生活の楽しさに及ぼす影響

久留米大学心理学研究科¹、久留米大学文学部心理学科²

田中芳幸¹、津田 彰²

8. 小・中学校における慢性疾患患児の体調管理上の困難 —養護教諭を対象にした質問紙調査から—

千葉大学大学院看護学研究科 林 有香

セッション III. (11:14-11:53)

座長 堤 俊彦 (近畿福祉大学社会福祉学部助教授)

益子育代 (ヘルスヒーリング研究所長)

9. 育児開始時の母親の心理的健康感と産科的リスク要因

久留米大学医学部看護学科¹、心理学研究科²、文学部心理学科³

津田茂子¹、田中芳幸²、津田 彰³

10. 育児期女性に対する心理的支援活動について

久留米大学大学院心理研究科¹、文学部²

穴井千鶴¹、園田直子²、津田 彰²

11. 携帯電話を介した人間関係と愛着の関わり

恵愛堂病院・株式会社 OMG 佐藤宏子、川村幸子

フロアでの展示演題 (エントランスホール 9:00-14:30)

バリアフリー教材「メディおばさんの木陰で」

北陸大学薬学部¹、公立能登総合病院²

宮本悦子¹、大嶋耐之¹、毎田千恵子¹、岡島千佳¹、杉田尚寛²、

高田宗明²

11:53-13:00

昼 食

13:00-13:30 総 会

13:30-14:30

特別講演

座長 河野陽一（千葉大学大学院医学研究院小児病態学教授）

「小児と環境ホルモン」

森 千里（千葉大学大学院医学研究院環境生命医学教授）

14:30-16:30

シンポジウム II.

座長 長嶋正實（あいち小児保健医療総合センター長）

近喰ふじ子（東京家政大学大学院教授）

「生き生きとした子どもを育む環境作り」

1. 電話による育児相談から見る子供の環境・生活習慣

猪野和子（元（社）千葉県看護協会赤ちゃん専門相談員）

2. やる気と自主性を育む教育心理学

上淵 寿（東京学芸大学教育学部助教授）

3. “軽度発達障害”—教育及び医療の取り組み—

齊藤万比古（国立精神・神経センター精神保健研究所

児童・思春期精神保健部 部長）

4. 入院児の遊びと保育

川上清子（日本女子大学家政学部児童学科助教授）

16:30-16:35 閉会の辞 会長 河野陽一